

「今」を支える農伝

復活之キリスト春日教会伝道師

松田拓実
(第 68 回卒)



2018 年に農村伝道神学校（以下、農伝）を卒業しました。現在は長野県佐久市、蓼科山の麓にある農村地域の教会（春日教会）で働きを与えられています。

私の所属する教団は、日本基督教団ではなく、復活之キリスト教団という信州を中心にしたとても小さな教団で、牧師になるには 5 年かかりますので、今はまだ伝道師。2023 年 4 月には按手を受けて牧師になる予定です。牧会の傍ら、農作業のお手伝いをし、LGBTQ+（ゲイ）当事者としての活動も細々と続けています。

このように教団も違う性的少数者の神学生、そんな私でも、隠す必要もなく、のびのびと学ぶことができたのが、農伝の魅力だと思います。神様、そして農伝の皆様、私を大切にしてくださって、ありがとうございます。

しかし農伝を卒業し、信州に戻ってみると、精神的にとっても辛い時期が私を待ち構えていました。「農伝では当たり前のようにのびのびと学ぶことができたのに、地方の教会では LGBTQ+ が受け入れられていないんだ」という先入観も一つの原因となり、抑うつ状態と診断された時が実はありました。教会以外の場所で仕事をしたほうが気が楽だと、その時、辞めることまで考えていました。

時間をかけながら治療していく中で、農伝のことを思い出しました。自分に解決するだけの力が与えられている、だから場所のせいにはできないと、神様に押し出されて行動へと移っていった人とたくさん、農伝で出会ったよな、と。このように、農伝

で体験したこと、学んだことを思い起こしていく中で、「私は今の環境では自分らしく生きられない」と思い込むことが、自分を辛くしていたことに気づきました。また、生まれ育った地方に対する自分の先入観にも気づかされました。人の価値観はなかなか変わらないけれど、自分が逃げたり、諦めたりしたら、本当に何も変わらないままではないかな。それに、言っても絶対に理解してくれないと、勝手に相手を敵認定している私に人は心を開きたくないのじゃないかな？ と。

農伝での記憶に押し出されて、このようなおもいに至った私は、自分のセクシャリティについて、信州の教会の皆様にもカミングアウトをしました。その結果、より深い相互理解が、教会の皆様との間で生まれた、教会の外との関係もより深まった、と感じています。このように、今となって信州の農村地域の教会で、ゲイとしての正々堂々とした働きが与えられている私を、常に支えているのが、農伝でのかけがえのない学び、出会い、体験だと思っています。

坐禅と出会えたことも、農伝でのかけがえのない体験の一つです。世の中はつねに、たくさんの情報で溢れかえっています。本当のことは神しか分からないのではないかな？ 必要以上に私たちの不安を煽るものは何か？ こうした中、坐禅は私に、言葉ではなかなか言い表せない大切なことを示し続けていると感じています。また坐禅のおかげで、自分と人の生き方を比べることも少なくなったと感じています。

農伝は今もこれからも必要とされ続ける、大切な場所です。農伝がこれからもずっと、守られますように。



蓼科山麓の春日教会付近から浅間山に向かう道 筆者撮影

フリースクールはっちゃんくの子どもたちに尋ねました

週 2 回行われている学校礼拝（写真右）に、旧事務長宅で昨年 10 月に開始されたフリースクール「はっちゃんく」（写真下、『学報』第 183 号 2021 年 11 月で紹介）の子どもたちが、この初夏から参加しています。今回、子どもたちにインタビューしました。これから礼拝説教をする神学生にとって、大変参考になる意見・感想をいただきました。

質問 1 なぜ礼拝に参加したいと思ったのですか？

「はっちゃんくへの通り道に礼拝堂があったので」「毎週聞こえてくる音楽に興味があった」「神様に興味があった」「キリストの歴史に興味があった」

質問 2 参加した感想は？

「礼拝の歌声が気持ちよかった」「聖書の分厚さに驚いた」「今、旧約聖書を読んでいるが出てくる名前が多すぎて、わけがわからない」「静粛のなかで歌われていた賛美歌が気持ちいい」「説教する人の言葉が難しくてわからない」「同じ人の名前が何回も出てきて、頭がこんがらがる」



質問 3 これからも礼拝に出席したいですか？

「賛美歌に興味あり、出席します」「神様ってなにか？ 興味あり、出席します」

とっても率直で素直な感想をいただきました。今回、意見・感想を話してくれた子どもたちに、礼拝参加直後の 6 月中旬に聖書をあげました。今、聖書を読んでいます。わけがわからない箇所と登場人物の多さ、頭がこんがらがりますが興味が増していると話してくれました。 沼田弘行（神学校職員）



IDEA CENTER 浮輪寮オープン

1961 年に遠山元一氏から農村伝道神学校に移築寄贈された日本家屋は当初、教職員住宅の一つとして、A. マッシュズ先生、D. オース先生の住居となり、当時の学生たちにも親しまれた。ゲストハウスとして外国人・日本人宣教師の日本滞在中の宿舎となり、来校者が泊ることも多い時期もあった。その後、使用されない年月の間に畳が朽ち、竹林に覆われた建物となった。

その古民家を再発見し、数寄屋建築の価値を見出したのが、2017 年から旧女子寮（うきわ寮）等の建物調査をされた建築家の丸谷博男さんだった。

丸谷さんは、家屋の再生と本校の環境を守ることを条件に 10 年間使用する契約を本校と結び、経産省事業再構築補助金に自己資金を加え、この 9 月に「IDEA CENTER 浮輪寮（アイデアセンター ウキワリョウ）」として竣工した。丸谷さんは全国各地で古民家の再生を手がけるだけでなく、建築職人の技術の継承にも携わっており、この「IDEA CENTER 浮輪寮」の再生にも研修生が参加している。

7 月のプレオープンイベント「アオギリ祭り」は、広島平和記念公園から託された被爆アオギリ二世の苗木を植樹し、被爆体験を語り続けた女性をモデルにした映画『アオギリにたくして』が上映された。絵画展「樹と風と光と…」の木村巴さんは、お子さんがシオン幼稚園卒。近隣の畑から野菜の提供など、地域のつながりに溢れ、オープンした。



風が渡り、輻射冷暖房や光触媒を利用した無感染換気を体感できる室内。

丸谷さんは、A.R. ストーン宣教師が日本の農村を愛し、農民と共に生きたこと、そして 1954 年の洞爺丸海難事故で青年に救命具を渡して亡くなったことに共感。解体してなくなった旧女子寮の愛称をとって「IDEA CENTER 浮輪寮」と命名し、地域と共生、非戦・平和の大切さを伝える里山の拠点にしたいと抱負を語っている。

長谷川りゑ子（後援会実務委員）



浮輪寮同友会会員(年会費 12,000 円)は実費で宿泊できる。



クリスマスに農伝の手作りギフトを

竹で作りました

*ほかにも、竹コマ（直径 5～6cm、400 円）、長くつべら（長さ約 70cm、500 円）などがあります。

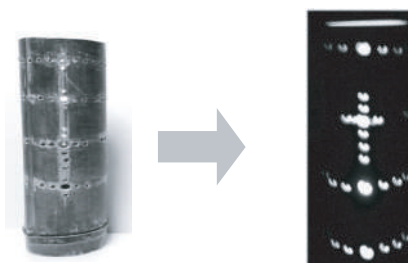
NEW



竹のオーナメント
吊り下げ型。置き物にも。直径約 7cm : 400 円



竹のどんぐりケン玉
大きさ 8～10cm
400 円



竹キャンドルスタンド（キャンドル付き）
暗闇の中でオレンジの灯りがとまります。
高さ 25～30cm : 600 円

木で作りました

*ほかにも置き物で、木の十字架（高さ約 14cm、600 円）、丸木の十字架（高さ約 12cm、400 円）などがあります。



ペンダント
タウ十字架
ヒノキ、ペンダントトップ
の大きさ約 4cm : 800 円



ペンダント
イクトウス（魚）
ホオノキ、ペンダントトップ
の大きさ約 7cm : 800 円

陶芸の小皿いろいろ



手描き葡萄
丸皿
直径約 10cm
800 円



角皿
一辺約 9cm
500 円

*皿の裏に「のうでん」印あり。
*ほかにも、クローバー（丸皿、直径約 10cm、500 円）、野の花（丸皿、直径約 10cm、500 円）などがあります。

贈り物におすすめの本

世界の食卓から平和を祈る『おいしいお便りレシピ』

レシピ小冊子をつくる会（ウイットマー圭子ほか） 2014 年 8 月発行 1000 円

日本・台湾・タイ・ドイツ・カナダなど世界のレシピとエッセイ。

イラストも楽しい。日本語・英語対訳。

高俊明牧師の説教講演集『愛と祈り』

沖縄アビー福音センター編集 2010 年再版発行 特別価格 500 円

1996 年、沖縄の諸教会と施設での説教講演ほか、「私と台湾・アジア植民地問題」（又吉盛清）など。



ご注文は以下へお知らせください。郵便払込票と請求書（代金＋送料）を同封し発送します。

農伝事務所 FAX 042-735-5711 TEL 042-735-5775 Eメール kouenkai@noden.ac.jp

2022年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2022年5月16日～2022年9月25日（ ）内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援献金（団体）		石井 光子 5,000	河野 通久 3,000	長町昭子 5,000	安永 直美 5,000	上西知子・哲雄 5,000
関東学院 20,000 下谷教会婦人会 10,000 信濃町教会婦人会ぶどうの会 30,000 高砂教会 3,000 西千葉教会吾亦紅（手作りボランティア） 5,000 東長崎ウエスレー教会 5,000 広島南部教会 3,000 水口教会 3,000 箕面教会 10,000 合計 9 件 金額 89,000	石坂 桂子 10,000	越石 利明 5,000	小手川 到 5,000	張連淑・郭鐘洙 5,000	柳 和吉 3,000	下屋敷統太 1,000
	石橋 光朗 2,000	小林 利明 5,000	辻井武志・嗣子 3,000	柳 徳子 2,000	柳 徳子 2,000	菅野百合子 3,000
	伊藤 誠之 10,000	後藤田由紀夫 6,000	津布楽幸八 5,000	柳田 雅江 100,000	山田美知子 5,000	竹内 元子 5,000
	井上 富子 5,000	小林 明 10,000	東郷 淑子 3,000	山田美知子 5,000	渡辺教・好子 3,000	田村 恵子 5,000
	井上したふ 3,000	小林 牧子 5,000	徳島 恵子 5,000	中村証二 3,000	合計 98 件	西村保典子 15,000
	伊禮 洋子 3,000	小林利明・恒子 5,000	中村証二 3,000	金 額 633,680	深澤美知子 5,000	松田弘子・美子 5,000
	牛島 洋子 5,000	小原 敏 10,000	西尾 尚子 3,000	金額 633,680	松田弘子・美子 5,000	松山 清子 5,000
	榎本富美子 2,000	小柳 伸顕 3,000	浜本 真理 5,000	記念日他献金（団体）	持田由美子 5,000	無記名 2,000
	大脇 順和 10,000	近藤 晶子 1,000	早川三南子 5,000	久米田教会 3,000	合計 17 件	金額 92,340
	奥田 信夫 5,000	斉藤 恵子 3,000	林 弘恵 3,000	代田教会 10,000	幕張教会 15,000	ひとつぶ献金
小田部進一 2,000	三枝 智子 10,000	原田 和子 3,000	広島南部教会 1,000	よきサマリヤ人伝道所 10,000	生田教会 178,900(2)	
小畑眞知子 5,000	坂口千恵子 3,000	坂西千鶴子 5,000	樋口 静子 5,000	合計 5 件	茨窪教会 89,500(2)	
貝塚夕紀代 5,000	佐治 弘志 5,000	樋口 静子 5,000	深井奈緒子 3,000	金額 39,000	上大岡教会 14,650	
片山 禎二 5,000	佐竹 順子 3,000	深井奈緒子 3,000	深澤 正勲 2,000	金額 39,000	杉並教会 4,000	
加藤千鶴子 3,000	佐藤 節男 10,000	藤田 純子 10,000	藤田 純子 10,000	記念日他献金（個人）	鶴川教会 61,700	
加藤真規子 10,000	下園 弘子 30,000	藤田 純子 10,000	古川 力也 10,000	五十嵐敏子 5,000	東梅田教会 26,000	
白木 梅子 3,000	白鳥吉夫・律子 10,000	星 和夫 5,000	星 和夫 5,000	井上 富子 5,000	広島南部教会 1,000	
白鳥吉夫・律子 10,000	鈴木 一宏 3,000	真崎 麗子 5,000	牧野信次・恵美子 10,000	宇佐美慈子 1,340	まぶね教会 27,000	
鈴木 一宏 3,000	鈴木 豊助 10,000	松田 芳治 5,000	真崎 麗子 5,000	大久保洋子 20,000	水元教会 17,600	
鈴木 伸 2,130	鈴木 伸 2,130	馬淵由季子 10,000	松田 芳治 5,000	樺澤幸雄 3,000	合計 11 件	
高井 好子 10,000	高井 好子 10,000	馬淵由季子 10,000	馬淵由季子 10,000	上内 鏡子 2,000	金額 420,350	
高橋 敬基 15,000	高橋 敬基 15,000	峰晴 玲子 2,000	峰晴 玲子 2,000			
高橋とも子 10,000	高橋とも子 10,000	三宅 亮子 5,000	三宅 亮子 5,000			
田中 暉彦 5,000	田中 暉彦 5,000	毛利 亮子 3,000	毛利 亮子 3,000			
田中和三郎 10,000	田中和三郎 10,000	森 節子 1,000	森 節子 1,000			

♪ 農伝支援コンサート〈於 まぶね教会：神奈川県〉2023年3月4日（土）午後開催。チラシができましたら、ご希望の方にお送りします。♪ ＊下記の農伝事務所までご連絡ください。

農伝ルバーブ畑は農場担当の松本吉氏光さんが1年生のときにアジア学院から頂いたルバーブの種を蒔き育てたことから始まりました。2年目に収穫、今年は農伝ルバーブジャムを発売します！

◎ルバーブ畑・ハーブ畑で月一回から作業できる農伝ボランティア大募集！！ 下記の農伝事務所にお問い合わせください。

農伝ルバーブジャム（写真右）200g 450円、農伝野草木茶（柿の葉茶、ビワの葉茶、イチヨウ葉茶）30g 330円、ハーブティ 20g 500円、レモングラスティ 20g 500円、農伝ぎんなん 150g200円。

＊ご注文方法はP3下にあります。

＊11/26(土)10時～14時 農伝グラウンドにて「まちだ里のマルシェ」に参加♪ 遊びにおいでください。

事務局だより

先日、フリースクールはっちゃく（P2）の子どもたちが「今日、礼拝やりますか」と神学校に尋ねて来た。神学校の礼拝参加を待ちわびる子どもたちがいる。P1の松田拓実さんたちが農業実習で畑に植えた栗の苗木3本が豊かな実りになったと池迫先生や沼田さんからうれしい報告があった。今年の事務局は献金窓口を一本化したり、学校の農場を1区画借用したり、新しいグッズの開発や商品作りに向けてスタートした。コ

ロナ禍の折、シオン幼稚園クローバーの会が主催したマルシェへ神学生と共に参加した。ジーンズガーデンは定期的なボランティアと職員の協力で、草花が継続できた。しかし、事務局は慢性的な人手不足である。農場職員の松本さんと栽培したルバーブの収穫とジャム作り・瓶詰めからラベル作りまで神学校事務長の瀬戸先生にも助けていただいた。月一回のボランティアも貴重な働きです。皆さんの手をつなぎ合わせませんか。夏梅文和（実務委員）

お願い お振り込みいただく払込取扱票は新しい「鶴川学院」名義の使用をお願いいたします。「後援会」名義の払込票は、通知料金負担があり、徐々に口座を閉じたいと思います。「鶴川学院」払込取扱票を必要枚数ご請求ください。事務局

2022年度後援会会計報告

2022年4月1日～2022年8月31日現在

収 入（献金・他）					前年同 期比 （％）
献金区分	2022 年度（4 月～8 月）		前年度同期		
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	
後 援 献 金（団体）	12	406,000	12	283,000	143
〃 （個人）	105	610,680	87	608,000	100
記念日他献金（団体）	5	33,000	4	70,000	47
〃 （個人）	39	208,340	77	636,000	33
ひとつぶ献金（団体）	9	403,200	9	437,400	92
グッズ / コンサート		157,430		20,610	764
合 計	170	1,818,650	189	2,055,010	88

発行 農村伝道神学校後援会 会 長 島 しづ子 事務局長 長谷川りゑ子
〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024 TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711 E メール： 後 援 会 kouenkai@noden.ac.jp 農村伝道神学校 noden@pony.ocn.ne.jp ホームページ： https://noden.ac.jp/ 郵便振替口座 加入者名：学校法人鶴川学院 00140-7-635524